



# 樹妙だより

No.210 2024/6.7



1年生宿泊オリエンテーションの様子（4月18、19、23、24日）

## 慈 悲 喜 捨

心理学者の名前をあげると、私は、「フロイト」「ユング」「アドラー」三人の名前が出てきます。その一人である「ユング」は、スイスの精神科医でフロイトと師弟関係にありました。しかし、フロイトの一部の学説に疑問を抱き、現代のカウンセリングでよく用いられる「タイプ論」を学説にしました。それは、人間を「内向」と「外向」の2つのタイプに分類し、外向に分類される人は社会的で、流行に流されやすい傾向があり、内向に分類される人は、我慢強さを持つものの、気分左右される傾向があるというものです。

また、ユングは更に、人間の心を「思考」「感情」「感覚」「直観」の4つに分類しました。「思考」は、論理性を重視して、好き嫌いなどの感情論を除いて物事を判断する人、「感情」は、好きか嫌いか、また自分にとって心地よいかどうかを基準に物事を判断する人、「感覚」は、自分の価値基準や論理的な見解を挟まず、見たものをそのままに捉える人、「直観」は、論理的でもなければ感情的でもなく、ある

がままに物事を見ることもなく、本質のみを捉える人、と、それぞれのタイプについて述べています。

こうしてタイプ論は、人を「外向」と「内向」に分け、心を「思考」「感情」「感覚」「直観」に分けることで、人間を $2 \times 4 = 8$ のタイプに分類します。そして、自分がどれに属するかを知り、自分の優れた面や弱い面を認識することが自己を高めることにつながると考えます。ユングはこの過程を「個性化の過程」と名づけ、それが自己実現のためには不可欠であると唱えました。

ユングは、学生時代に窮乏生活を余儀なくされ、その経験を通して「何でもないものの大切さ」を学んだと言っています。多くの心理学者が、自らを深く見つめ、一人ひとりが違っているという事実を基に、皆が自己理解を進めて、よりよい人生を送れることを目的として人の心を研究しました。そのお陰で、私たちは様々な気づきを得ながら今を生きていられるのではないかと思います。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長  
野口秀樹

新年度がスタートして2ヶ月が経過しました。新入生も学校になじんできたようであります。生徒たちは明るく元気です。

高校生活の年間イベントの1つであります群馬県高校総体も5月に終了し、こちらでも生徒たちは成果を上げ、関東大会に出場する部活動が沢山出ております。

それぞれの種目でまた輝いてくれることを期待しております。

5月12日に『超無敵クラス』という日本テレビの番組に本校が取り上げられ放映されました。校内で3日間収録が行われ、番組制作スタッフが選んだ生徒7名がその対象となりました。

視聴した保護者の方たちからは、明るい良い校風が出ていたので、見ていて楽しかったと感想も頂きました。

生徒たちが目的を持って毎日を懸命に過ごしている姿がそのように映ったのだと受け止めております。

6月1日・2日、待ちに待った生徒実行委員会が中心に行われる「月影祭」(文化祭)が開催されます。一般公開は2日の日曜日となります。

何年かぶりに慈善バザーも行われますので、保護者の皆様のご来場を楽しみにお待ちしております。

今朝の出勤時に新川公園でお天道様(太陽)を拝んでいる女性を見かけました。

私は教育者でありますがお寺の住職でもあります。住職歴45年、毎朝かかさず仏様にご挨拶をし、ご供養しております。

同様に今朝の公園の女性のように天道様を拝む習慣を20年以上続けております。曇りの日でも、雨の日でもその方向を向いて手を合わせます。何故なら雲の上では太陽が燦々と輝いているからです。

太陽の光は大宇宙のパワー、私の心と体にエネルギーを与えてくれる。沈んだ心もいやしてくれる。そんな感謝の思いで手をあわせております。

人間の本当の苦しみは人生において3回しかないという話を聞いたことがあります。1回目は生まれてくるとき。覚えておりませんが、母親の産道をくぐり抜けると

いう命がけの苦しみ。2回目は自分の意思とは関係なく訪れる死。

そうすると残りはあと1回しかないということになります。絶対にあと1回。

これはいい話です。私はこのことを絶対信じたいと思っております。

にもかかわらず皆さんの周りにはいつも苦しんでばかりいる人がおりませんか。

恥ずかしながら、私も世界で一番不幸のような顔をしていた時期がありました。針小棒大と言う言葉がありますが、些細なことを苦しい苦しいと大騒ぎしていたように思います。

それではそんなに苦しかったのならば、その時の苦しみを思い出せるだろうと試みるのですが、思い出せないのであります。

本当の苦しみは人生に3回しかない、これは本当かもしれません。

教師生活40年を越えた私が、沢山の中高生を見てきて感じている事、とても恵まれているのにも関わらず自分は不幸だと思っている生徒が結構いるのです。その幸せに気がつけば苦しまなくてもすむし、良い方向に気持ちも切り替えられるのにと残念でなりません。

そして私はこの言葉に出会いました。「今あなたが苦しんでいるのは、あなたの生き方が間違っていることを知らしめるため。生き方を訂正することは、もっと良くなるチャンスとなります。実は今一番成長しているとき、気づけないだけ」です。

もう一つ「あなたに越えられない苦しみを神や仏は決して与えない。すべてあなたの力で乗り越えることができる。」これも素晴らしい言葉でしょう。

これは私にとって信じるレベルではなく絶対的な真理になっております。辛い時はいつも自分に言い聞かせております。

曇り空のその上で太陽が燦々と輝いている。同様に困難に見える向こう側にいつも喜びが待ち構えている。

だから負荷がかかって苦しいとき心の底からファイトが湧いてくるのです。「できる、できる。さあ一乗り越えてみよう。」

私のこの単純さ、驚きでしょう。でもこれが私の生きる力になっております。

合掌

# 令和6年度 学校教育方針

## 1 本校の教育目標

- (1) 「共生（ともいき）」という仏教の教えを基にして、自他を尊重し、多様性を認めるとともに、生かされていることに感謝し、自ら進んで社会に貢献しようとする豊かな心（慈悲心）を涵養する。
- (2) 社会や生活における課題を自分のこととして引きつけて捉えるとともに、自分の人生を自分の力で切り拓いていく、智慧のある「自主独立」の人材を育成する。
- (3) 希望する進路目標を実現できる確かな学力を獲得するとともに、将来の様々な課題にも対応できる人間力と健やかな身体を養成する。

\*確かな学力とは、

- ①生きて働く「知識・技能」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」



## 2 生徒に身につけさせたい力

- (1) 感謝する心、奉仕の精神
- (2) 主体性、挑戦する力
- (3) 確かな学力

## 3 重点運営事項

- (1) 本校の特色化・魅力づくりの推進
  - ①進学探究コースならびにキャリア探究コースにおける、学校設定科目の特色ある学習内容及び魅力ある行事・活動を策定する。
  - ②生徒の進路実現に質する、「総合的な探究の時間」の三カ年にわたる指導計画を完成させる。
  - ③「互観授業」の取組をとおして、各教科・科目における深い学びを追求する。
  - ④部活動強化推進委員会を発足させ、強化指定部顧問の連携強化を図る。
  - ⑤生徒会を中心とする生徒の主体的な活動の支援し、月影祭を充実したものにする。
  - ⑥ICT教育に係る教員の資質・能力の向上及び生徒の情報活用能力の健全育成を目指す。
- (2) 高校入試改革の推進
  - ①生徒募集のキーワードを「探究学習」と「部活動」とし、その特色や魅力を教職員による中学校訪問やオープンスクール等で伝える。
  - ②優れた進路実績や部活動等における活躍を積極的に広報し、単願者の増加を目指す。
  - ③受験生の得意や努力したことを重点的に評価する試験方法を実施する。
- (3) 「働き方改革」の推進
  - ①年間変形労働時間制を定着を図り、職員のライフ・ワーク・バランスに配慮する。
  - ②生徒の活動と休養のバランスにも充分留意し、高校生活の満足度（QOL）を高める。

## 勉強する意味

「古文・漢文って何のために勉強するの」という意見はよく耳にする。古文・漢文は、文法や語句の意味など覚えることが多く、現代文とは異なる読みにくさもあるため、苦手意識を持つ人は多い。そこでつい、「何のために…」とこぼしてしまうのだろう。

「古文や漢文を学ぶ意義」をインターネットで検索すると、「定期試験や入学試験のため」「文化的・文学的な教養を身につけるため」といった回答が出てくる。もちろん進路実現のためには、試験に向けて知識・教養を身につけることは大事ではあるが、それでは（国語科の教職課程を取得する人や、古文・漢文を仕事に生かす人を除き）高校卒業後、大学卒業後にこれまでの学びを生かすことはなくなってしまふ。

私なりに色々と考えた末、「古文・漢文を学ぶ意義」は、「昔の人が日々の生活の中で得た教訓から、私たちがこれから生きていくためのヒントを見つけること」という結論に至った。今回は、私がこの結論に至った契機となる、一つの話と自身の実体験について話しみようと思う。

中国の故事に「人間万事塞翁が馬」というものがある。この故事は、鎌倉時代に日本で成立した説話集『古今著聞集』にも収録されており、「人生の幸福・不幸はその時々で変化するものなので、安易に悲しんだり喜んだりしてはいけない」という教訓を説いたものである。

私が最初にこの故事と出会ったのは、中学二年生の頃だった。担任の先生が、この故事の由来や意味について話してくれた。その時は「初めて知った。語呂がいいな。」くらいにしか思わず、とくに気に留めたり意識したりすることはなかった。後々、私の人生における「座右の銘」となるなどとは知るよしもなかったのである。この気にも留めなかった故事が「座右の銘」にまでなったのは、ある出来事が関係している。

それは、高校受験のことだ。私は、中学生の頃から「絶対に、この高校の、この部活に入りたい」という目標があった。私には兄が二人おり、目指す高校は兄の母校だった。負けず嫌いな私は「絶対に負けるものか。絶対に合格する。」と、その高校の受験を決意し、挑戦した。今考えると不純な動機であるが、

「合格」という目標達成のために、懸命に受験勉強に取り組んだ。しかし、結果は不合格だった。

その時は、受験に失敗した悲しみ、悔しさに押しつぶされそうになった。しかし、悲しんでいても悔しがっていても「不合格」という結果は変わらないと自分に言い聞かせ、気持ちを切り替え、これから3年間学校生活を送っていく新たな場所、樹徳高校に入学した。そして、そこで必ず達成させる目標を三つ立てることにした。「部活動では、必ず大会で結果を残して、関東大会・全国大会に出場する」「勉強では、テストで～点以上を毎回取れるように勉強する」「クラスや学校のためになることをする」の三つである。この目標を達成できるように勉強・部活動・学校生活に取り組んだところ、本命ではなかったはずの本校での生活であったが、とても充実した三年間を送ることができた。

高校受験で不合格であったことは、一見すると「不幸な出来事、悲しい出来事」であるかもしれない。しかし、私は上記の通り、充実した高校生活を送ることができ、また、在学中、将来の目標として、「学校の先生になりたい。働くなら、絶対に樹徳で働きたい」という希望を持ち始め、大学でも頑張った。そして今現在、こうして夢が叶い、本校で働くことができている。自分にとっての不幸や不運も、その時の考え方やその後の取り組み次第で「幸福な出来事」に変えていくことができるのだと、いま、しみじみと実感している。

今回、私は冒頭で「古文・漢文を学ぶ意義」を「昔の人が日々の生活の中で得た教訓から、私たちがこれから生きていくためのヒントを見つけること」と述べた。私の場合、「人間万事塞翁が馬」という故事から、「人生の幸福・不幸はその時々で変化するものなので、安易に悲しんだり喜んだりしてはいけない」という教訓を学び、その教訓（考え方）を実体験に生かすことができた。

いま、本校で学ぶ生徒のみなさんに伝えたい。これから先、古文や漢文を学んでいく上で、「この話が伝えたいことは何か、この話の教訓は何か」を読み取り、これから生きていくためのヒントを見つけて欲しいと思う。それこそが、「勉強する意味」だと私は言いたい。

(国語科 久保田有海)

# 一貫校 **中学校** だより

## 21世紀型スキル

令和6年度が始まりました。今年度は46名の新一年生を迎えることができ、昨日宿泊オリエンテーションを無事に1年生全員参加で終えることができました。また、今年は月影祭が6月1、2日に行われます。1年生から6年生までどの学年も月影祭に向けて、協力して準備等を頑張っております。

さて、今回は「これからの時代に必要な能力」についてお話しさせていただきます。現在、日本の教育現場では、新しい動きが起っています。

一番に挙げられるのは、GIGAスクール構想です。学校でICT環境を整え、生徒一人ひとりがタブレット端末を使用し、教育にオンライン環境をうまく取り入れようとするプロジェクトです。このGIGAスクール構想により、今、日本の学校は、これまでの慣例や既成概念を壊しながら、新しい学びを作り上げていく過程にあります。これはこれからの社会に生徒が対応して行くための力の育成には不可欠なことです。つまり、これからの「先の見えない時代」の中で、今後生徒たちが生きていく上で大事な力は、私たちが子供の時のように、教科書に書かれていることを暗記して、テストで良い点を取るだけの力だけでは対応出来ないということになります。そこで必要となる力が21世紀型スキルです。

21世紀型スキルについては、以下の重要な2つの提案があります。

1つ目は、2002年から、アメリカの官民共同で、幼稚園から高校までの教育内容の見直しが進められ、P21（21世紀型スキルのための

パートナーシップ）と呼ばれる検討会が開かれ、ここでは3つのR（読む力、書く力、計算力）と4つのC（コミュニケーション、協働性、創造性、批判的思考力）が必要であると提案されています。

2つ目は、2009年から始まったATC21s（Assessment and Teaching of 21st Century Skills）で、アップルやインテル、マイクロソフトなどの企業が出資している官民学の共同プロジェクトです。このプロジェクトでは、21世紀型スキルとして4つのカテゴリー（思考の方法、働く方法、働くためのツール、社会生活）と10のスキル（創造性とイノベーション、批判的思考・問題解決・意思決定、学び方の学習・メタ認知、コミュニケーション、コラボレーション、情報リテラシー、ICTリテラシー等）を提言しました。

これらは、自分達の会社において有用な人間とはどういう人かという観点でまとめられたものですが、ある程度汎用性がある内容になっています。

これからより変化する世界に対応するとされている21世紀型スキルは、今はまだ存在しない職業や仕事内容への準備であり、情報化によって生まれる新しい職業に適した新しい教育であると言われてい

ます。現在、樹徳は中学、高校共に、21世紀型スキルの習得を念頭に生徒の教育を行っております。例えば、総合学習や探究学習が良い例です。通常の授業はもとより、将来に向けて生徒に身につけて欲しい力の習得を念頭に、「教え」ではなく「学び」の教育を引き続き行って参ります。

副校長 薊 法明

### ◆入学式

4月6日（土）講堂にて24期生、46名の入学式がおこなわれました。厳かな空気の中、緊張した面持ちで学校長による式辞、中学3年生による歓迎の言葉に耳を傾けていました。



### ◆花祭り（灌仏会）

4月8日（月）に中学1～3年生が講堂にておこなわれた花祭りに参加しました。中学1年生が代表として、色とりどりの花で飾られた花御堂に安置された誕生仏に甘茶をかけ、お祝いしました。



# 幼稚園だより

## ◆「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」

私が小学校に勤務していた時、毎月1回全校児童の前でお話をする時間をいただいていた。今回は、その内の一つを紹介したいと思います。その月は、学校全体としての生活目標が「言葉遣いに気を付けて生活しよう」ということでしたので、それに関連したお話をしました。次の内容です。

皆さんが普段何気なく使っている言葉ですが、言葉というのは、使う人の、その時その時の心に包まれているものだと思います。たとえば、皆さんが名前を呼ばれたときの「はい」という返事一つをとっても、その時の声の大きさや調子によって、返事をした人の心の状態が、相手に伝わるものです。

そして、相手と会話をするときに、その言葉が、相手の人との心のキャッチボールとなるか、ドッジボールになるかで、相手との関係は大きく違ってきます。

心のキャッチボールというのは、相手が取りやすいように投げるわけですから、優しい言葉となって相手に伝わり、相手との関係も深まります。ふわふわ言葉を相手に投げるといことですね。しかし、ドッジボールになってしまうと、相手をやっつけようという言葉になるので、ちくちく言葉を投げつけるということ。結果的には相手を傷つけることとなります。

それなので、言葉は、とても便利ですが、気づかないうちに相手の心を突き刺す「とげ」になっていないか、時には使うときに考える必要があります。

私は、言葉というのは、色々な力をもつ生き物だと思っています。時には、人を助けたり、人を喜ばせたりする言葉があります。しかし、人を傷つけたり、人を悲しませたりする不思議な魔力をもった言葉もあるのです。だから、「言葉遣いに気を付けて生活しよう」という生活目標をしっかり守り、言葉を大切に使うようにしてください。



お話の中にあつた「ふわふわ言葉」とは、相手から言われてうれしくなったり、元気になったりする言葉を言います。その反対に、「ちくちく言葉」とは、相手に言われて嫌な気持ちになったり、悲しい気持ちになったりする言葉です。後日、児童会本部役員の児童に、「ふわふわ言葉」とはどんな言葉だろうかと考えてもらおうと、「〇〇してくれてありがとう」「大丈夫だよ」「とてもじょうずだね」「一緒にあそぼう」などが挙げられました。私は、本部役員の皆さんに「素晴らしい」と褒めるとともに、「毎日の生活の中で、このようなふわふわ言葉をたくさん使えたらよいですね。」と伝えました。しばらくすると、児童会本部役員の児童が描いたポスター「こんなふわふわ言葉を進んで使おう！」が、校舎内の廊下にたくさん掲示されました。

今回取り上げた「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を考えた時に、教育に携わる私たちが普段の生活の場面で、もしくは指導の場面で、児童・生徒に発する言葉はどちらが多いのでしょうか。昭和の時代に比べると、平成の後半から令和の時代になって、「ふわふわ言葉」が多くなっていると感じますが、まだまだ十分とは言えない気がします。我々教員が、児童・生徒を元気にしたり、やる気を出させたりできる言葉を意識的に使っていく、そんな幼稚園や学校でありたいと願います。

園長 佐野 悦生



### 入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571  
桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

## 6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	土	月影祭 更衣 校内安全点検	月影祭	開園日(預かり保育)
2	日	月影祭	月影祭	
3	月	月影祭片付け 前期教育実習オリエンテーション		安全点検日 教育実習生(育英短大生)受け入れ リズム
4	火	振替休日(6/1)		不審者対応避難訓練
5	水	振替休日(6/2) 県校長会		歯科検診
6	木	前期教育実習開始 授業料・校外学習費用納入日 マイトリー基金抛金日	マイトリー基金抛金日	体育・文字(年中)
7	金	3年生進路ガイダンス 県高P連総会 浄土宗宗立宗門校教育振興会理事会(～8日)	頭髮服装指導	群私幼・認こ園PTA連合会通常総会
8	土		6年進研共通テスト模試	開園日(預かり保育)
9	日			
10	月	学年主任会③ 3年J組三者面談(～13日)	中学3年租税教室	保育料納入日 プール開き リズム
11	火			文字(年長)
12	水	2年生進路ガイダンス	校内弁論大会	お茶のお稽古②(年長) 英語
13	木	歯科検診④		さくら組教育実習生研究授業
14	金	マナーアップ運動 漢字検定①	マナーアップ運動	たけ組教育実習生研究授業
15	土			開園日(預かり保育)
16	日			
17	月	朝礼		リズム
18	火	校内研修(いじめ防止)	中学 授業参観	ボール投げ教室②(年中・年長)
19	水	探究・LHR 歯科検診⑤ 日私中高連常任理事会		英語・文字(年長)
20	木			体育・文字(年中)
21	金		中学 早朝自主学习開始	園外保育(春の遠足)
22	土	数学検定①	学校説明会 中学土曜登校日 1年茶道教室 2年大川美術館/3年語学研修説明会 数検①	開園記念日のため休園
23	日			
24	月	教科主任会③		ひよこ・すみれ組保育参観 リズム
25	火			もも組保育参観
26	水	探究・LHR 北関東初任者研修(新潟)(～28日)		さくら組保育参観 英語・文字(年長)
27	木	樹の根の会総会 期末試験(～7月2日)	高校期末試験(～7/2)	たけ組保育参観 体育・文字(年中)
28	金	出欠統計提出 関東地区私学保護者連合会理事会(群馬) 制服アフターサービス オーバーコート採寸(1年生)	中学期末試験(～7/2) 三越アフターサービス(4年生オバコート採寸)	じゃがいも掘り(全学年)
29	土			開園日(預かり保育)
30	日			



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

### ■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

6月、7月の予定は未定です。

## 7月(正業)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	月	求人受付開始 校内安全点検 マイトリー基金拠金日 離任地・夏休み行事計画提出 学年主任会④ 教科書採択	校内安全点検 マイトリー基金拠金日 高校期末試験(～2日) 中学期末試験(～2日)	安全点検日 リズム
2	火	健康診断予備日(清桜) 県校長会	中学ITトラブル防止教室	保護者会幼交連「交通安全教室」
3	水	探究・LHR(野球部壮行会) 県校長会 募集要項説明(本校教員)		英語・文字(年長)
4	木			体育・文字(年中)
5	金	授業料・第1回諸費納入日	授業料納入日 漢検①	七夕祭り
6	土	1,2年ベネッセ学力テスト 3年ベネッセ記述模試 高校野球夏季大会開幕	中学保護者会 STEAM教育	開園日(預かり保育)
7	日	英語検定①二次 海外科学研修(～16日)	海外科学研修出発(～15日) 英検①(二次)	
8	月	朝礼 教科主任会④		リズム
9	火	生徒募集要項説明会(中学校教員対象)		ボール投げ教室③(年中・年長)
10	水	探究・LHR 募集要項説明会(学習塾対象)	イブニングスクール(～12日)	保育料納入日 英語・文字(年長)
11	木	担任宛成績提出 制服アフターサービス 選挙出前授業	三越アフターサービス	体育・文字(年中)
12	金	視聴覚教室 教務宛成績提出 一学期出欠締切	視聴覚教室	
13	土			開園日(預かり保育)
14	日			
15	月	海の日		
16	火	一学期出欠統計提出 中学校訪問(3時限授業)		
17	水	探究・インターハイ壮行会(6時限目) 日私中高連常任理事会 成績会議 日本私学保護者連合会総会・研修会(静岡市)(～18日)		英語・文字(年長)
18	木	薬物乱用防止講演会(5,6時限) オープンスクール打合せ	中学 校内英語スピーチコンテスト 高校 薬物乱用防止講演会(5,6時限)	体育・文字(年中)
19	金	終業式	終業式・大掃除	1学期終業式
20	土			父の会イベント 開園日(預かり保育)
21	日			
22	月	生徒夏休み 運営委員会②	生徒夏休み 中学校学習支援期間(～8/2)	お泊まり会(年長)① 預かり保育① 園児夏休み(～8/25)
23	火	全国高等学校総合文化祭(～28日) 関東高P連千葉大会(～25日)		お泊まり会(年長)② 預かり保育②
24	水	3年生就職ガイダンス		預かり保育③
25	木			預かり保育④
26	金	3年河合塾全統共通テスト模試(～27日)		預かり保育⑤
27	土			開園日(預かり保育)
28	日	オープンスクール①		
29	月	振替休日(7/28)	振替休日(9/28)	預かり保育⑥
30	火			預かり保育⑦
31	水		三二学校説明会・見学会(～8/2)	預かり保育⑧



樹徳高等学校

樹徳中学校

樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく